

○文部省第四號 市 县
當省明治十四年(一月)第四號達府縣立學校幼稚園書籍館等設置廢止規則第二條并第四條ニ據、學校長以下履歷等開申可致ハ勿論ニ候。其内學校長教諭教諭學力及履歷ノ儀、其任用ノ都度別テ無通牒左ノ書式ニ據リ取調開申可致此旨相達候事。

但學校長教諭教諭轉免ノ節、其都度無遲滯開申可致此旨相達候事。

明治十六年四月十日 文部卿福岡孝弟(書式略)

○文部省第五號 府 縣
農學校通則別冊之通相定候條此旨相達候事。

明治十六年四月十一日 文部卿福岡孝弟(書式略)

農學校通則 第一章 總則

第一條 農學校ハ此通則ニ遵ヒ農ノ學業ナ教授スル所ト

ス○第二條 農學校ハ之ナ分テ第一第二ノ二種トス。第一種ハ主トシテ躬ラ善ク農業ヲ操ムヘキ者ナ養成スル爲メ

上款ニ遵ヒ之ヲ設置スルモノトス。第二種ハ主トシテ善ク農業ナ處理スヘキ者ナ養成スル爲メ下款ニ遵ヒ之ヲ設置

スルモノトス。○第三條 農學校ニ於テハ殊ニ本邦ノ農事ニ就キ第一種ハ空トシテ實業ナ授ケ第二種ハ學理ト實業ニ並ヒ授クルナ要ス。

明治十六年四月十二日 東京府知事芳川顯正(以下次號)

○東京府丙第四十六號 郡區役所

明治十年(十一月)第七十九號布告第一條但書ノ場合ニ於

テハ債主ハ其未納稅アル旨ナ通告シ債主ノ納稅セサル片

公賣ナ行フヘキ儀ト可心得此旨相達候事。

明治十六年四月十二日 東京府知事芳川顯正

○四月十三日分 任判事 司法少書記官 正四位 三條 公恭

時事新報

印

商工農論

凡ソ一國ノ富強ナボメ文明ノ進歩ヲ圖ラントスルコハ其

方策種々ナル可シト雖ニ究竟商工農業ナ隆盛ニシテ大ニ

富源ナ深クセザル可カラザルナリ。我國一般ノ風トシテ

古ヨリ專ラ農業ヲ重々商工業ニ至リテハ有レニ無キガ如

ク啻ニ之ヲ獎勵セザリシノミナラズ又隨ツテ之ヲ抑制シ

タルノ跡ナキコアフズ是故ニ人民ノ種族等級ナ稱スルコ

モ必ズ農工商ノ順序ニ從ヒ士ハ四民ノ長ニシテ農ハ工

商ノ首坐ナリトス。此說深ク國民ノ腦理ニ染染シテ容易ニ

洗滌シ得ベキトモ思ハレズ士ノ等級ノ如キハ廢帝以來漸

次低落シ今日ニ及テハ最ア之ヲ口外スル人モ無キ程ナレバ今更其非ナ辨スルナ須ヒズト雖農ナ以テ三業ノ首トトナシ之ヲ固信スル者モ世ニ少ナカラズシテ前後緩急ノト云ヘ、商ナ以テ第一シ工之コ亞マ農又之ニ次グト答

ヘザル可ラズ即ナ古來ノ稱呼ナ冠履顛倒シテ初メテ當ア得ルモノ、如シ依テ我輩ハ農工商論ト題セズア商工農論ト題シ一國富強ノ根源ナ養フ所以ノ方策ナ講セントス。勉強工夫スレバトテ矢張一年一二四ノ收穫ニ遇キ大商ノ歴ノ儀、其任用ノ都度別テ無通牒左ノ書式ニ據リ取調開申可致此旨相達候事。

但學校長教諭教諭轉免ノ節、其都度無遲滯開申可致此旨相達候事。

明治十六年四月十日 文部卿福岡孝弟(書式略)

○文部省第五號 府 縣
農學校通則別冊之通相定候條此旨相達候事。

明治十六年四月十一日 文部卿福岡孝弟(書式略)

農學校通則 第一章 總則

第一條 農學校ハ此通則ニ遵ヒ農ノ學業ナ教授スル所ト

ス○第二條 農學校ハ之ナ分テ第一第二ノ二種トス。第一種ハ主トシテ躬ラ善ク農業ヲ操ムヘキ者ナ養成スル爲メ

上款ニ遵ヒ之ヲ設置スルモノトス。第二種ハ主トシテ善ク農業ナ處理スヘキ者ナ養成スル爲メ下款ニ遵ヒ之ヲ設置

スルモノトス。○第三條 農學校ニ於テハ殊ニ本邦ノ農事ニ就キ第一種ハ空トシテ實業ナ授ケ第二種ハ學理ト實業ニ並ヒ授クルナ要ス。

明治十六年四月十二日 東京府知事芳川顯正

○四月十三日分 任判事 司法少書記官 正四位 三條 公恭

時事新報

印

商工農論

凡ソ一國ノ富強ナボメ文明ノ進歩ヲ圖ラントスルコハ其

方策種々ナル可シト雖ニ究竟商工農業ナ隆盛ニシテ大ニ

富源ナ深クセザル可カラザルナリ。我國一般ノ風トシテ

古ヨリ專ラ農業ヲ重々商工業ニ至リテハ有レニ無キガ如

ク啻ニ之ヲ獎勵セザリシノミナラズ又隨ツテ之ヲ抑制シ

タルノ跡ナキコアフズ是故ニ人民ノ種族等級ナ稱スルコ

モ必ズ農工商ノ順序ニ從ヒ士ハ四民ノ長ニシテ農ハ工

商ノ首坐ナリトス。此說深ク國民ノ腦理ニ染染シテ容易ニ

洗滌シ得ベキトモ思ハレズ士ノ等級ノ如キハ廢帝以来漸

次低落シ今日ニ及テハ最ア之ヲ口外スル人モ無キ程ナレバ今更其非ナ辨スルナ須ヒズト雖農ナ以テ三業ノ首トトナシ之ヲ固信スル者モ世ニ少ナカラズシテ前後緩急ノト云ヘ、商ナ以テ第一シ工之コ亞マ農又之ニ次グト答

其進歩ノ迅速ナルハ農家ニ於テ營ナ資本ヲダル「ナリトス

蓋シ農へ天候地質ニ賴リテ耕種スルモノナレバ假令何程得ルモノ、如シ依テ我輩ハ農工商論ト題セズア商工農論ト題シ一國富強ノ根源ナ養フ所以ノ方策ナ講セントス。勉強工夫スレバトテ矢張一年一二四ノ收穫ニ遇キ大商ノ歴ノ儀、其任用ノ都度別テ無通牒左ノ書式ニ據リ取調開申可致此旨相達候事。

但昔ノ所謂商ハ國內ノ交易ニ止リ今ノ所謂商ハ外國貿易ニ關スルモノニシテ其大小廣狹固ヨリ日ナ同クシテ語ル可ラザルモノアリ。

農ナ以テ國ノ本トナスハ獨リ我國ノミ然ルコアラズ東洋諸國亦皆同様ノ事ニシテ我輩ノ説ニ反對スルモノ少シトセズ其説ノ頗ル順序アリテ稍取ルベキモノ、要旨ハ左ノ如シ云ク邦國初ナ開ケ人間初ナ資産ナ得ル之ヲ壞地トス

壞地ナ耕作スル之ヲ農ト名ツク農アリテ而ノ百物生ズ百物生シテ而ノ工ナル者起ル農工盛ニシテ而ノ後商ナル者初テ盛ナリ蓋農其物ナ產スルニアラザレハ名工モ其技ナ施スニ處ナク工其品ナ製スルコ非ザレハ商復タ何物ナ賣買セントスルヤト余輩モ此説ナ以テ悉ク非ナリトスルニ非ズ夫ノ野蠻ノ邦國半開ニ赴クノ順序ハ或ハ之ナ以テ適當トナスヘレト雖ニ半開ノ時代ヨリシテ文明ノ進歩ヲ圖テ

テントスルニハ決シテ此順序ニ從フ可ラズ何トナレバ則チ農ナ以テ本トナスモノハ專ラ衣食ニ須要ナルモノナ產出シ只其露命ナ繁ニ饑寒ナ免ル、ナ以テ目的トナスニ過ヤズシテ獨リ衣食不足ナキナ以テ最上ノ計トナス苟クモ野蠻半開ナ去テ文明ニ遷リ國民ノ知見頗ル開ケテ

制度文物モ粲然見ル可カラシメ國民生計ノ程度ナモ上場セシメントスルニハ商工ノ盛ナルニアラザレバ能ハザルコナリ蓋シ農ナ以テ本トスルモノハ其利少クシテ貧弱ナ免レズ商ナ以テ主トナスモノハ其利多クシテ富強ノ基ナ

建ツルコ得ベシ例ヘバ土地ニ產スルモノ其元價百万圓ナルモ之レニ製造裝飾ナ加レバ通常二三百萬圓ノ價ナ生

ナ又之ヲ他邦ニ販賣スレバ四五百萬圓ノ高價ニモ達スベク尙ホ彼我交換有無相通スル吉ハ四五百萬圓ノ代リニ五

益ハ農ニ二三倍シ商ノ利益ハ之ヨリ四五倍スルノ割合コナ最モ賄易マ計算ナリトス試ニ本邦農家ト商家ト何レカ

益ハ農ニ二三倍シ商ノ利益ハ之ヨリ四五倍スルノ割合コナ最モ賄易マ計算ナリトス試ニ本邦農家ト商家ト何レカ